

平成 17 年 12 月 2 日 (金)

第 347 回 史跡めぐり 資料

旧中村家住宅へのお誘い

ご案内 文教大学教育学部 教授 川崎衿子 先生

NPO
法人 越谷市郷土研究会

旧中村家住宅へのお誘い

文教大学教育学部 川崎衿子

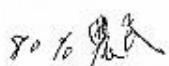
1. 中村家の歴史

中村家の屋号「四郎兵衛様」 ご先祖：豊臣方小西行長の家臣

古文書に残る四郎兵衛様：1714（正徳4）～1729（享保14）名主。名字帶刀を許されていた。

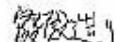
当主	生年	職務	建築歴
中村賢之輔	1840（天保11）～1916（大正5）	明治5年より 第2区副区長 明治17年より 県議会議員	長屋門 1886（明治19） 土蔵 1894（明治27） 納屋 1888（明治21）
中村貞次郎	1858（安政5）～1933（昭和8）		主屋 1914（大正3）頃
中村亥之輔	1899（明治32）～1996（平成8）		
中村 清	1928（昭和3）～	中村家の次男として生まれる。昭和40～50年に居住。 昭和60年代離れに住む。平成10年現在地に。	

2. 農家の構造



① 合掌造りと和小屋

② 上屋（じょうや）と下屋（げや）



③ 平面形式（間取り）の変遷

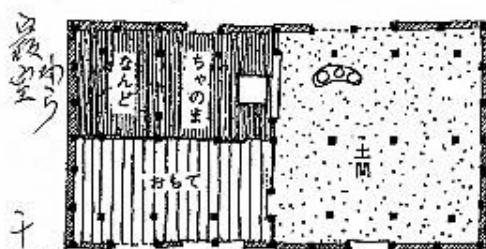


図1 古井家の平面（復元）

無印

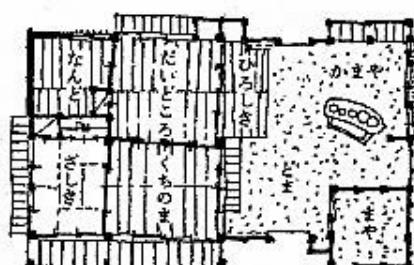


図2 山本家の平面・四つ間取り（復元）

田舎型

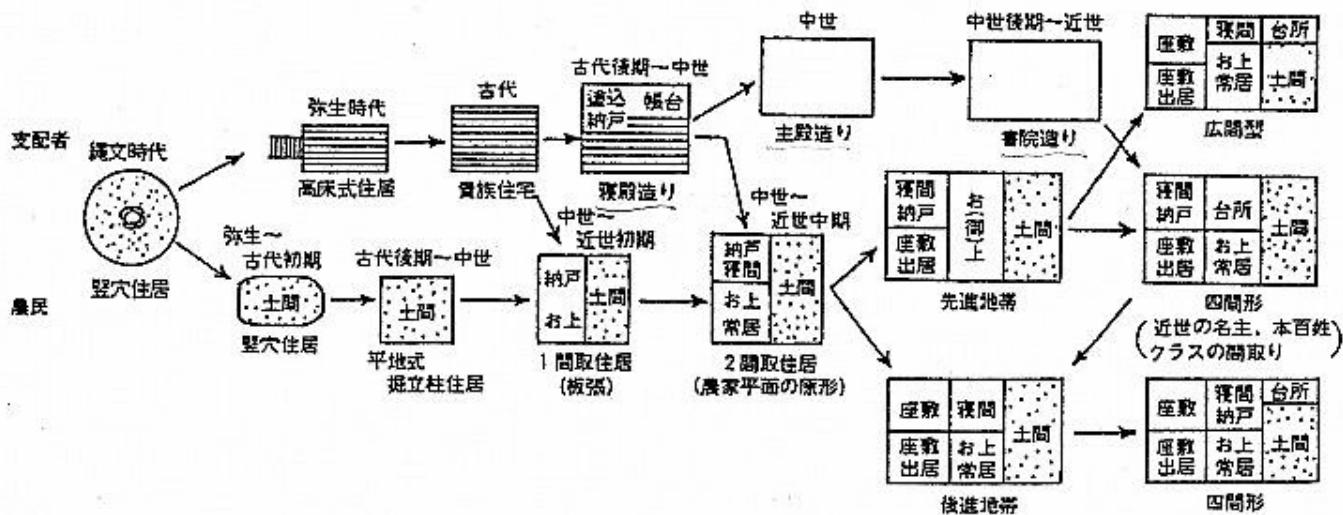


図3 農家の平面形式の変遷

④ 書院造の影響

書院、序、内、互いに開け

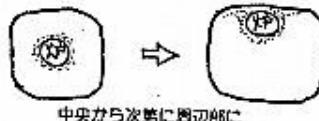
3. 農家の暮らし

① いおりと「座」

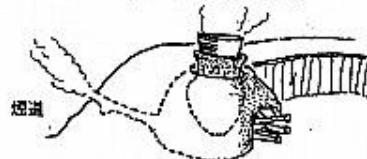
② 箱膳とちゃぶ台

③ 罠 (かまど)と羽釜 (はがま)

炉の出現 紀元前 4000 ~



カマドの出現 紀元前 400 ~



・中世の農民の暮らし

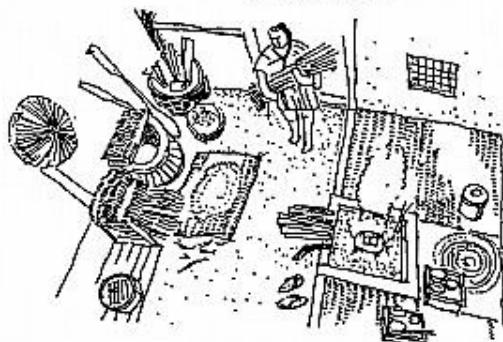
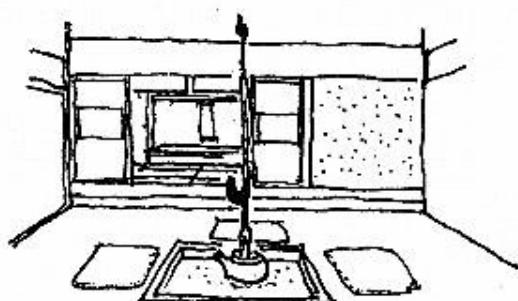


図4 いおりと窯

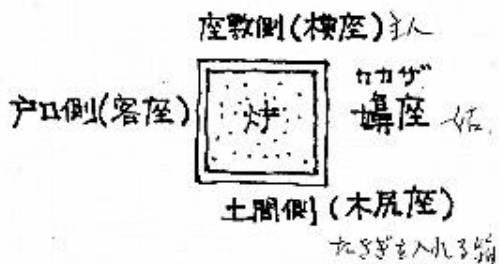


図5 いおりと家族の「座」

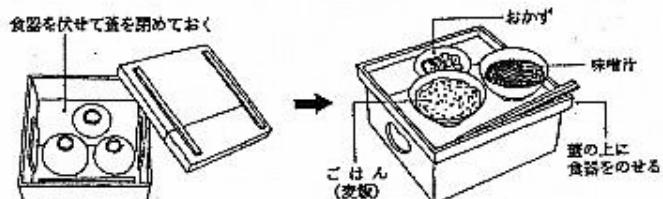


図6 箱膳の使い方

4. 中村家住宅の各部 外見図、内見図

① 玄関・出入り口

大門 ぐいり戸 奥戸戸口

② 土間と炊事

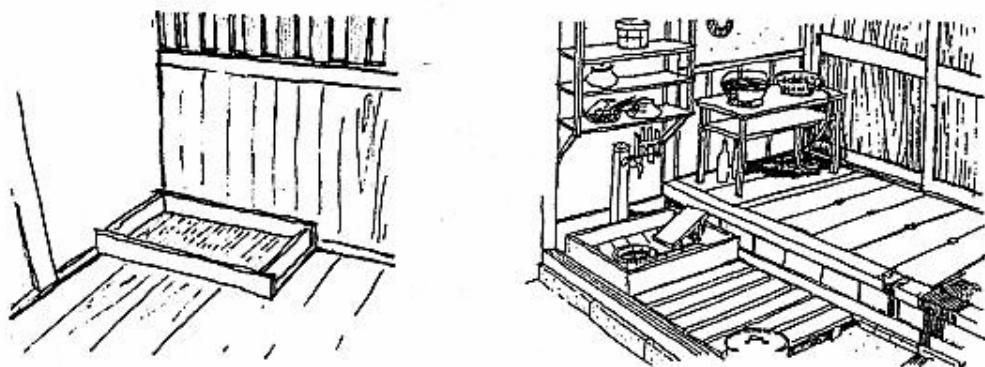


図7 座り（座式）流し

③ 長屋門

④ 蔵

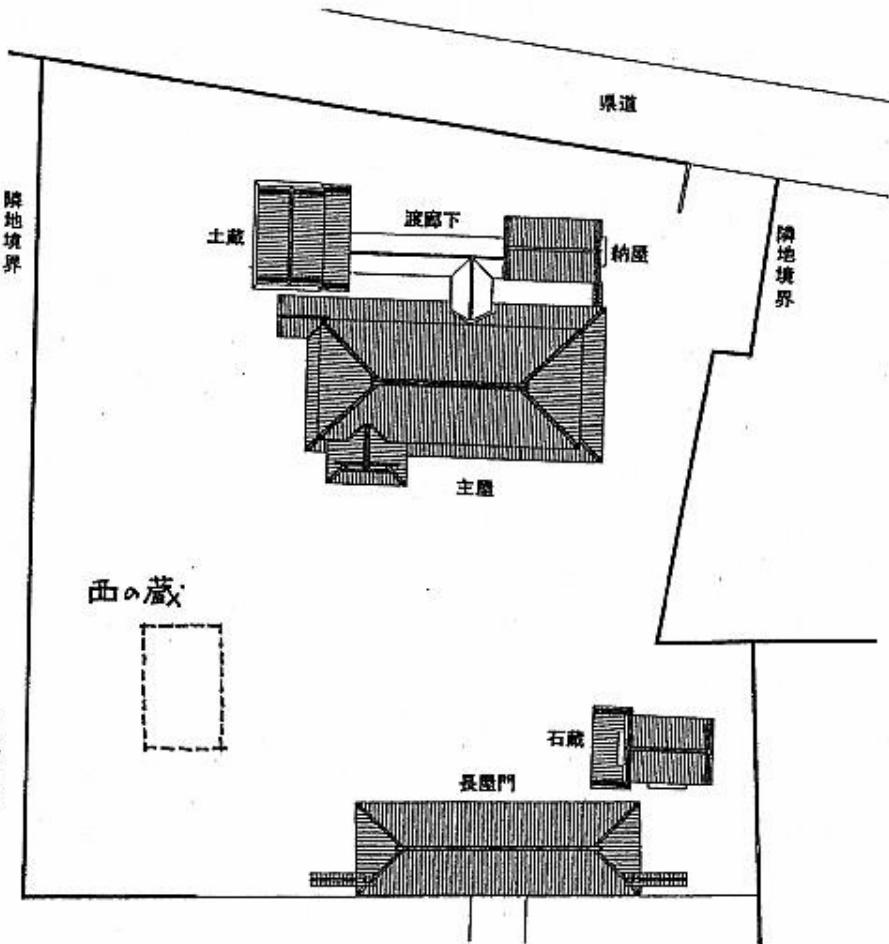


図8 中村家住宅配置図

越谷市保存民家

大間野町旧中村家住宅



越谷市

【料 金】

一 般	100円
小・中学生	50円
(小学校未就学児無料)	

【利用の制限】

次のような方は、利用できません。

- ①建物及び展示品をき損するおそれのある者
- ②風紀を乱す等他の入館者に迷惑を及ぼすおそれのある者
- ③他の入館者に危害若しくは迷惑を及ぼすおそれのある物品を携行している者又は動物を連れている者
- ④保護者等の同行しない小学校就学前の者
- ⑤その他保存民家の管理上支障があると認める者



越谷市保存民家 大間野町旧中村家住宅

○開館時間 午前9時から午後4時30分まで

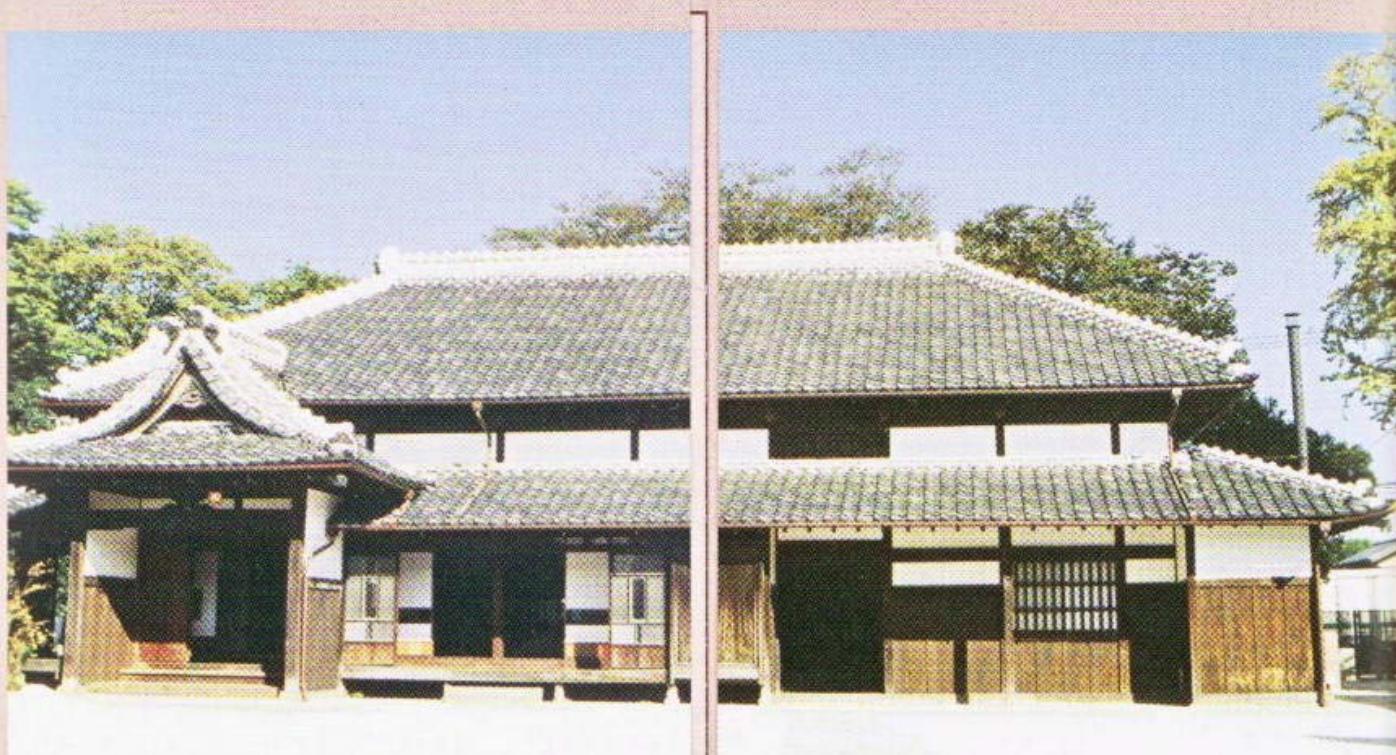
○休 館 日 毎週月曜日（祝日の場合は、その翌日）

12月29日から1月3日まで

〒343-0844

越谷市大間野町一丁目100番4

TEL/FAX 048-985-9750



主

大間野町旧中村家住宅は江戸時代に旧大間野村（現越谷市大間野町周辺）の名主を勤めた中村氏の旧宅で、平成9年に越谷市が寄贈を受け、建築当初の姿に復元したものです。

敷地内には主屋、長屋門、石蔵、土蔵があります。いずれも現在では失われつつある伝統的な建築技法と古材を出来る限り再利用して復元しています。

本施設は移築による保存ではなく、屋敷林に囲まれた敷地全体を保存しています。

また、各建物にはむかしの生活用具や江戸時代の越谷に関する貴重な古文書などを展示しています。

生涯学習や学校教育における地域学習などにぜひご活用ください。

大間野町旧中村家住宅概要

●主屋	年 代	大正3年（1914年）
	形 式 等	平屋建、寄棟造、桟瓦葺
	平 面 積	226.54m ²
・納屋	形 式 等	平屋建、切妻造、桟瓦葺
	平 面 積	23.14m ²
●長屋門	年 代	明治19年（1886年）
	形 式 等	寄棟造、桟瓦葺
	平 面 積	81.58m ²
●石 蔵	年 代	昭和初期
	形 式 等	石造、切妻造、桟瓦葺、妻入
	平 面 積	37.18m ²
●土 蔵	年 代	明治27年（1894年）
	形 式 等	土蔵造、二階建、切妻造、平入
	平 面 積	45.33m ²

敷地面積 2,873.59m²

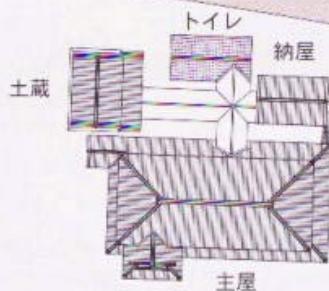


主屋 Omoya

奥座敷への入り口に「式台付き玄関」を有し、旧名主宅としての特徴を残している主屋には、土間、座敷4部屋、板敷1部屋、北側に納屋が付属しています。

また、地下に煙道を設け、建物外に煙を排煙させるカマドは、かつて市内でも数件見ることができましたが、現在残っている家はなく、当時の生活様式を、後世に受け継ぐ貴重なものとなっています。

敷地内見取図



わがまらの歴史を今に伝える...



土蔵 Dozou

白漆喰の外壁に黒漆喰の両開き扉を持つ土蔵は二階建てで、一階には長持やお膳などの生活道具、二階には書類などが保管されていました。

二階に上がる階段には箱階段が利用されています。床下には約1.2mの通気用の空間があり、内部は保管場所として適した環境に保たれています。



長屋門 Nagayamon

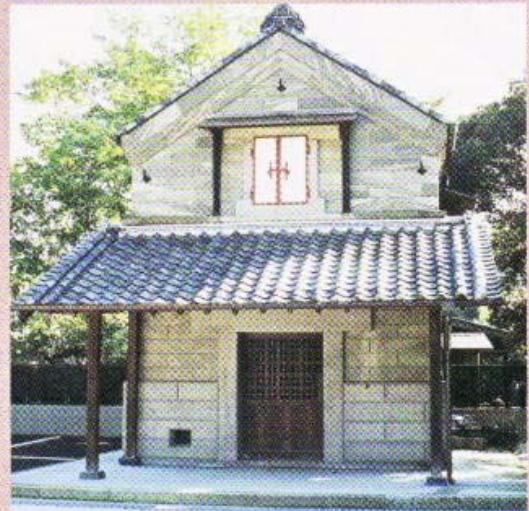
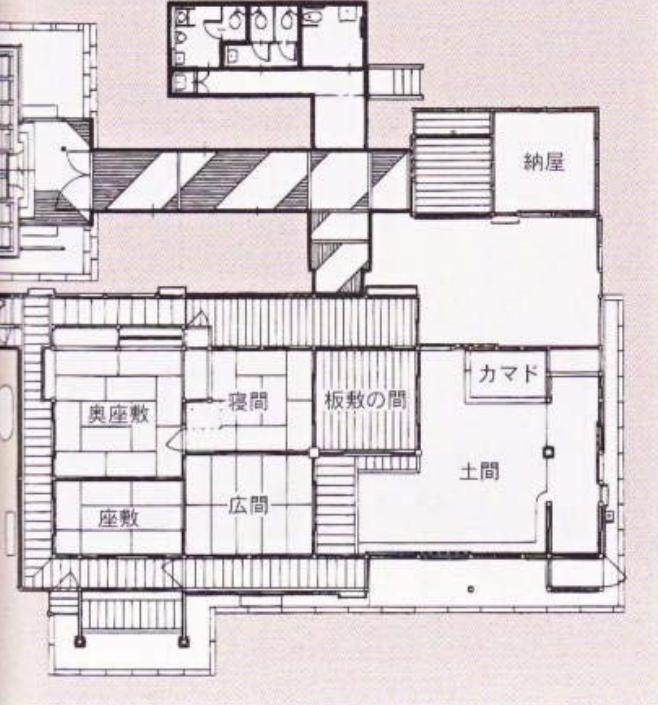
長屋門は武士や村役人層の屋敷にみられるものです。

入口には大扉と潜り戸が設けられ、門番のいた板敷きの間から屋敷への出入が確認できる構造となっています。また、西側の土間は村全体で使う農具等の保管に利用されていました。

外壁の漆喰は松煙墨（松を焼いた墨）を加えた鼠漆喰と呼ばれる灰色の漆喰で仕上げられています。通常の白漆喰に比べてひと手間加えられており、建物の意匠へのこだわりや当時の財力を表しています。

風情ある「名主のたたずまい」

取図



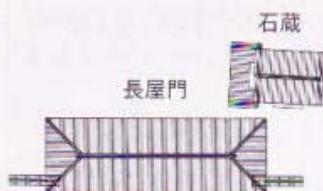
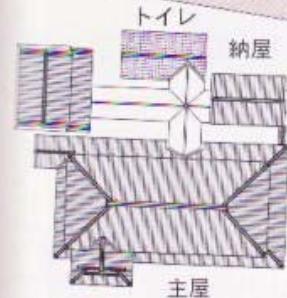
石蔵 Ishigura

“東の蔵”と呼ばれていた石蔵は米蔵として利用されており、秋には屋根まで届くほどの米俵が積み上げられていたそうです。

壁面に取り付けられている木製の角材は米俵が壁面に接しないようにするためのものです。

材料は千葉県鋸山周辺で採取できる房州石で作られています。

見取図



伝える…

OZOU

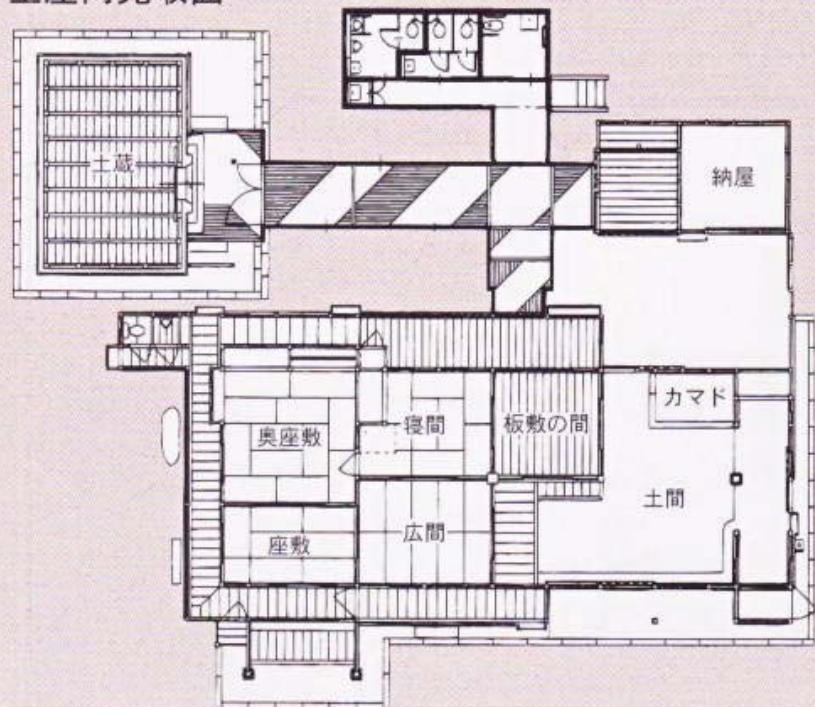
に黒漆喰の両開き扉を持つ土蔵は
階には長持やお膳などの生活道具、
どが保管されていました。

階段には箱階段が利用されています。
の通気用の空間があり、内部は
適した環境に保たれています。



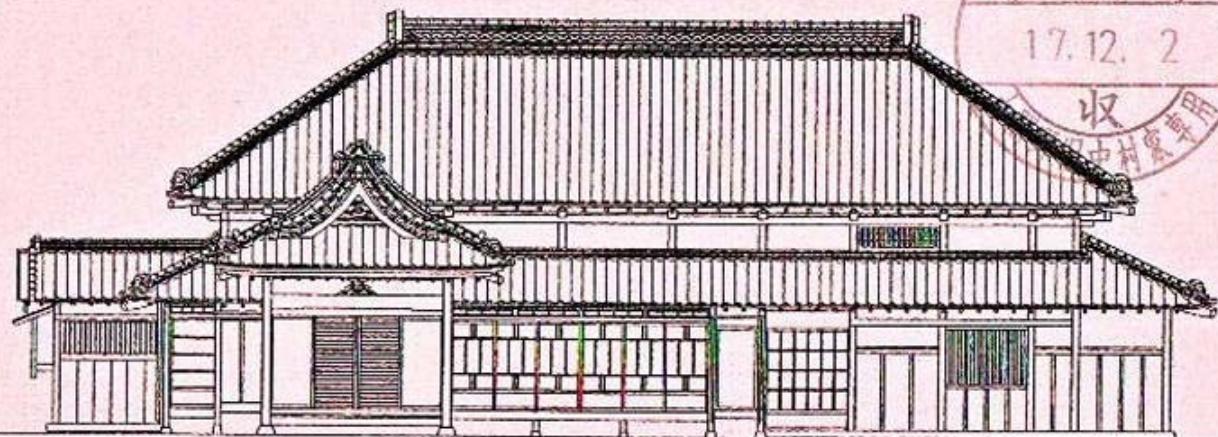
風情ある「名三

主屋内見取図



No. 3956

越谷市保存民家 大間野町旧中村家住宅 入館券



入館料 一般 100円

越谷市教育委員会

- ・本券1枚につき、1人1回当日のみ有効です。
- ・展示品および展示ケースには触れないでください。
- ・建物内でのご飲食、ご喫煙は、ご遠慮ください。
- ・建物内の立ち入り禁止を守り、順路どおりにご見学をお願いいたします。

越谷市保存民家 大間野町旧中村家住宅

開館時間 9時から16時30分まで

〒343-0844

越谷市大間野町一丁目100番4

TEL/FAX 048-985-9750